

目次

賜姓在原朝臣 1

林のある風景——漢と和と 15

「みやび」の構造についての試論——石川女郎と大伴田主の贈報歌を中心に 37

懷恋反側——相聞試論 57

思子等歌と恋夫君歌——食不甘味 寝不安席 91

和歌と詩と楽と——『古今和歌集』真名序の措辞をめぐる 105

『伊勢物語』の成立と『萬葉集』——卷十六左注との関係を中心に 127

『伊勢物語』初段考——物語のはじまりと唐代伝奇 141

『伊勢物語』二十三段と李白「長干行」	157
『大和物語』葦刈章段の形成——『法華經』信解品との関係を中心に——	181

月の別れと星の別れ——『竹取物語』の構造についての試論——	209
-------------------------------	-----

『源氏物語』と『後漢書』清河王慶伝	237
-------------------	-----

『篁物語』の結婚譚と『孔子家語』	259
------------------	-----

俊賢の宰相の定め——『枕草子』「二月つごもりごろに」の段試読——	267
----------------------------------	-----

『大鏡』道長伝と『晋書』謝玄伝	281
-----------------	-----

『江談抄』の「虚言」——中国文芸による説話の形成——	291
----------------------------	-----

〈付録〉

『伊勢物語』と中国文学	305
-------------	-----

中国語訳「『伊勢物語』与中国文学」(陳明姿訳)	327
-------------------------	-----

光源氏の物語の成立	347
-----------	-----

中国語訳「光源氏物語之成立」(林水福訳)	363
----------------------	-----

所収論文掲載誌等一覧	389
------------	-----

あとがき	394
------	-----

賜姓在原朝臣

在原朝臣という氏が、平城天皇第三子高岳親王の子善淵・安貞等、第一皇子阿保親王の子仲平・行平・守平・業平等の賜わったものであることは、よく知られるところである。ただ、賜姓にあたって撰ばれた「在原」の由来については、管見に入った限りでは、いまだ説を見ない。

小稿では、その典拠をさぐり、あわせて、「在原」の二字に託された思いを明らかにしたいと思う。

一

まず、在原朝臣賜姓について整理しておく。

『三代実録』元慶四年（八八〇）五月二十八日の条の在原業平卒伝中に、在原朝臣賜姓に関して次のように云う。

天長三年親王上表曰、无品高岳親王之男女、先停_三王号_一、賜_三朝臣姓_一、臣之子息未_レ預_三改姓_一、既為_三昆弟_一之子_一、寧異_三齒列_一之差_一。於是、詔_三仲平行平守平等_一、賜_三姓在原朝臣_一。